



B型肝炎のお話を聞いてきました。

(看護師 山下)

B型肝炎は、血液からの感染だけでなく、よだれ・汗・涙・鼻汁などからも感染することが分かっています。しかも感染力の強いウイルスと言われています。(お父さんがキャリアの場合、4人に1人の赤ちゃんが感染してしまうという報告もあります。保育所での集団感染の例も報告されています。)

また、欧米で多い遺伝子型Aのウイルスによる感染が、日本でも若い年齢層を中心に広がってきています。この場合大人でもキャリアになる確率が高いことが分かっています。

全世界では生まれてくる全ての赤ちゃんの80%が生まれてすぐ3回の接種を受けています。

B型肝炎

B型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。

このウイルスは、身体に入ると肝炎を起こしたり、長く肝臓に住みついて自覚症状がないままに(慢性肝炎)肝硬変になったり長年のうちには肝臓に進行する可能性があります。

赤ちゃん、特に3才未満の乳児が感染するとキャリア(持続感染ウイルスが体内に住みついた状態)になりやすいとされています。

日本では130～150万人がB型肝炎ウイルスのキャリアと言われています。自分で感染しているのに気づいていない人も多くいます。

B型肝炎の感染経路

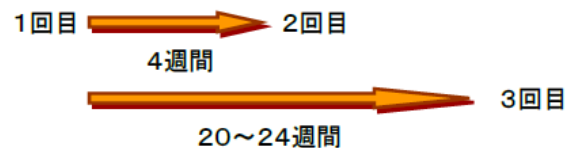
分娩の時に赤ちゃんに感染(母子感染)とそれ以外の周囲の人からの感染(水平感染)があります。

また、原因不明(感染源がはっきりしない)知らない間にかかることもあります。

日本では任意接種のワクチンです。
ただし、お母さんがB型肝炎のキャリアであることが検査で分かった場合は、生まれてきた赤ちゃんにグロブリンの注射とB型肝炎ワクチンで感染予防をしています。
この予防は保険適用になります。

ワクチンで予防をしましょう。(3回接種)

生後2ヶ月頃からの接種が勧められています。



他のワクチンと同時接種することができます。

詳しいことはスタッフまでご相談下さい。